

ふちとを知らう シリーズ⑬

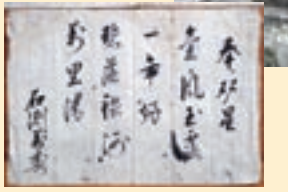
文教菊池の人々(江戸期の人物篇)

石淵八龍(万寿)

石淵八龍(一八三七〜一九〇二)は、天保八(一八三七)年正月に水次村に生まれ、通称万寿といいました。石淵家は代々医者を家業とし、八龍の時に私塾「楽只堂」を開き、「経学」即ち儒学による子弟教育を行いました。家業の医者を継いだ八龍は、患者の貧富・親疎に関わらず、また患者宅の遠近をいとわず往診し、完治まで投薬するなど、名医として慕われました。しかしその八龍は、疾病は医術で治せるけれども、侵された人の心や傷つけられた世の中の道は、「経学」特に「忠孝」でしか治せないと確信していました。そして八龍自らも率先垂範、門弟数百人がその教育の感化を受けています。



石淵八龍の墓(右) 石淵万寿自筆の手習い本(下)



また八龍は博学で、詩文もうまかったようですが、非常に謙虚であったため、あまり多く伝わっていません。数少ない漢詩の中には、「菊池八景」(七言絶句)があります。それらは、「鞍嶽晴雪」(鞍岳の雪)・「菊池朝霧」(菊池川の朝霧)・「西寺晚鐘」(西寺の夕暮れの鐘)・「笠峰秋月」(八方岳の月)・「広瀬飛螢」(広瀬の螢)・「守山霜葉」(文責) 社会教育指導員 堤 克彦

「高嶼帰舟」の漢詩では、「兩派の長流、碧山を映す。菊鹿二郷の間、茲より貨穀、貿易に通ず。朝去る扁舟、暮に復た還る」と、菊池・迫間両川の舟運を詠じています。この大意は、「菊池川と迫間川の長い流れは、樹木の青々と茂った山を映しながら、菊池郡と山鹿郡の間を蛇行している。高島の船着場から、地元の品物や穀物を搬出し、高瀬湊からは、さらに大坂へと通じている。朝に高島を出た小舟は、暮れには再びもどってくる」というものです。

第8回きくち市民フォーラムを開催します

入場無料

菊池市女性団体代表者は、「男女がともに輝き支えあう社会(男女共同参画社会)」の実現を目指しています。一人ひとりが大切にされ、誰もが自分らしく生きる喜びを実感できるまちづくりのために、下記日程で市民フォーラムを開催します。

とき 11月17日(土) 午後1時30分~午後3時30分
ところ 菊池市中央公民館 2階 大研修室
講師 波口恵美子さん(こころのサポートセンター・ウイズ代表)
演題 「対等な関係って、どんな関係?~自分も相手も共に大切にする関係をつくるために~」

その他 手話通訳あり。無料託児あり(原則2歳~就学前。相談に応じます。11月14日(水)までにご予約ください。
主催 菊池市女性団体代表者会
共催 菊池市
問い合わせ先 男女共同参画推進室
☎(25)7210

「盲導犬フロックスの「思い出」を読んで」
菊池南中 中原慧美 (平成18年度卒)

私は今、「盲導犬フロックスの思い出」という本を読んでいます。私は、小学校の頃から盲導犬に関心があり、盲導犬を訓練する人になりたいという夢を持っていた時もありました。
この本には、福沢美和さんと盲導犬フロックスとの出会いの時から今までの思い出が書いてあります。毎日の生活や盲導犬への理解の広まり、障害者の方々の思い出なども書いてありました。障害を持つ人、普通の人、私たちが暮らしている社会で普通に暮らすことが難しく、人の手助けや盲導犬、聴導犬、介助犬などの動物の力を借りて暮らしています。しかし、いつも手助けしてもらえないわけではあります。盲導犬などの犬と暮らしている人は少なく、不安もたくさんあると思います。今の市や町の環境を見ても、障害者の方々に生活しにくい場所がたくさんあると思います。

例えば、目の見えない人のために道を教える黄色いボコボコしたものを街でよく見かけるけれど、その上に自転車や車が止めてあったりします。また、障害者用の駐車スペースに、障害者でない人が駐車してたりします。そんな時に、本当に必要とする人たちはどうなるのでしょうか。きつと困るでしょう。
福沢さんの書いた中に、「ホテルやお店に入ろうとしたら、『犬は入れないでください』と言われることも辛い思いをしました。盲導犬は目の見えない人にとって、とても大切な存在なんです。離れ離れになることは出来ません」と書いてありました。この気持ちは障害を持つていない私たちには感じることの出来ないくらい強いものだと思いました。今までは盲導犬や障害者への理解が広まってきていると書いてありました。
しかし、まだ課題はたくさんあると思います。それは、私たち一人ひとりが正しい知識と理解を持ち、すべての人に優しいまちづくりをしていくことだと思っています。自分のことだけでなく、周りのことを考え、温かい心を持って人と接していけるようになります。そして、みんなが協力し生きていける社会をつくっていくべきだと思います。

2007年度「差別のない明るいまちづくり懇談会」を開催しています

人権問題は、私たちの暮らしと深く関係しています。それは、昔から言い伝えられている迷信、因習や不当な判断・偏見など、間違つて受け止められていることが差別意識を残す要因になっているからです。
そのため、地域に根ざした様々な間違つた問題を正しく理解し、改めていかなければなりません。
そこで、私たち市民一人ひとりが、同和問題をはじめすべての人権問題を自分のこととして受け止め、不合理な差別に対する問題意識を高めながら「差別のない明るいまちづくり」をめざし、菊池市内全域を対象とした地区別懇談会を開催しています。

実施時期 11月末まで(一部地域を除く)
懇談会区割り
菊池、七城、旭志、泗水の4地区を、さらに各行政区の3ブロックに分け、毎年1ブロックを実施し、3年間で全域を巡回します。(下表参照)

菊池市役所 ☎(25)1111
七城総合支所 ☎(25)1000
旭志総合支所 ☎(37)3111
泗水総合支所 ☎(38)2111
○プレゼンテーションの視聴

Table with 2 columns: 実施予定地区 (Implementation Area) and 実施内容 (Implementation Content). Rows include 菊池地区, 七城地区, 旭志地区, and 泗水地区.

秋期狂犬病予防集合注射と犬の登録受付を行います

平成19年度秋期の狂犬病予防集合注射および犬の登録を次のとおり実施します。犬の登録と毎年1回の狂犬病予防注射は、法律で義務づけられていますので、犬の所有者は必ず接種してください。

また、登録していない犬の所有者、または新たに犬(生後91日以上)を所有した人は、会場で登録手続きを行ってください。

料金(1頭につき)
・登録料 3,000円
・集合注射料 3,000円(注射済票500円含む)
※動物病院などで注射を受けたときは、獣医師の証明書を菊池市役所環境課または各総合支所民生課まで持参の上、注射済票発行手続き(1頭に付き注射済票発行手数料500円が必要)を済ませてください(注射実施会場でも発行できます)。

Table with 3 columns: 月日 (Date), 時間 (Time), 場所 (Location). Lists dates from 11/4 to 11/25 and locations like 菊池市役所, 七城多目的研修センター, etc.

※いずれの会場でも接種できます。
また、登録済の人は「狂犬病予防注射日程等のご案内」のはがきを持参してください。
問い合わせ先 環境課 ☎(25)7217 各総合支所民生課

児童センターに遊びに来ませんか
すくすくクラブ・3B体操
とき 11月14日(水) 午前10時から
ところ 西部市民センター
内容 今回は1歳未満の乳児を対象に、ふれあいあそびを楽しみます。
講師 庵本悦子さん
対象 市内の乳幼児と保護者
※動きやすい服装でお越しください。
参加費 無料

すくすくクラブ「消防署見学」
とき 11月21日(水) 午前10時から
ところ 西部市民センター集合(マイクロバスで移動します)
内容 菊池北消防署(消防車・救急車)を見学した後、救急処置法を教えてください。
対象 市内の乳幼児と保護者
定員 親子で15組

申し込み方法 11月17日(土)までに児童センターに申し込んでください。
※定員になり次第締め切らせていただきます。
すくすくクラブ「座まりあ」の人形劇
とき 11月28日(水) 午前10時30分から
ところ 菊池市児童センター
内容 手遊びやかわいい人形のおはなしを聞きます。
対象 市内の乳幼児と保護者
参加費 無料
問い合わせ先 菊池市児童センター ☎(24)3472